

## 伊那市の紹介

### 《伊那市の概要》

平成18年3月31日に伊那市、高遠町、長谷村が合併し、新「伊那市」として誕生しました。

長野県の南部に位置し、南アルプスと中央アルプスの二つのアルプスに抱かれ、市の中央部を天竜川と三峰川が流れる豊かな自然と歴史、文化が育まれた自然共生都市です。



### 【豊かな自然と整備された交通網】

東に南アルプス、西に中央アルプスという二つのアルプスに抱かれ、その間を流れる天竜川や三峰川沿いには平地が広がり河岸段丘も見られます。

市内を南北にはしる中央自動車道や国道153号などの幹線道路が整備され、東京、名古屋のほぼ中間に位置していることから、商工業にとって優良な立地条件であるといえます。平成18年2月に伊那市と木曾地方とを結ぶ国道361号権兵衛峠（ごんべえとうげ）のトンネル化により、新たな経済、物流効果が現れています。



### 【バランスよく発展した産業】

電気、精密、機械などの高度な加工技術産業や食品などの健康長寿関連産業が発展し、モノづくり産業の拠点として、いくつもの工業団地が形成されています。また、肥沃な土地と豊かで良質な三峰川水系の水をいかした米作りのほか、野菜、果樹、花卉などの農業が盛んです。



### 【大切にされる伝統文化】

特色ある伝統文化が各地で継承され、伊那地区の「やきもち踊り」や「羽広の獅子舞」、高遠地区の「高遠ばやし」や「灯籠まつり」、長谷地区の「中尾歌舞伎」などは地区の住民が大切に保存伝習されています。また、かつての高遠藩の藩校「進徳館」に象徴される教育的風土は多様な人材を育成、輩出してきました。



### 【地域の特徴を活かした観光資源】

「天下第一の桜」と称される高遠城址公園の桜や仙丈ヶ岳を中心とする南アルプス国立公園といった観光資源のほかに、平成20年には日本ジオパーク委員会によって南アルプス（中央構造線エリア）が日本ジオパークに認定され、ジオ（地球）に関わる地質遺産による新たな観光資源もあります。また、スキー場や農業公園、温泉入浴施設なども整備されており、多くの観光客がこれらの観光地を訪れています。



### 〔伊那市へのアクセス〕

#### 【自動車を利用】（中央自動車道伊那インターチェンジ下車）

東京方面から 中央自動車道を利用して約3時間

名古屋方面から 中央自動車道を利用して約2時間

#### 【鉄道を利用】（JR伊那市駅下車）

東京方面から JR中央東線・飯田線を利用して約3時間30分

名古屋方面から JR中央西線・飯田線を利用して約4時間

#### 【中央高速バスを利用】（伊那市下車）

東京方面から 新宿駅西口（新宿区）から伊那市まで3時間20分

名古屋方面から 名鉄バスターミナル（名古屋市）から伊那市まで3時間

大阪方面から 梅田（大阪市）から伊那市まで5時間5分